

# 2023年3月期 決算説明会資料

 **OKUMURA CORPORATION**

2023年5月15日開催

2～17ページ

財務情報「2023年3月期決算および2024年3月期業績予想」

18～24ページ

非財務情報「奥村組グループのサステナビリティ」

財務情報

2023年3月期決算  
および  
2024年3月期業績予想

 **OKUMURA CORPORATION**

## 連結決算の概要

(単位：億円)

	2022/3期	2023/3期		
	実績	予想 (2月公表値)	実績	対前期 増減率
売上高	2,424	2,490	2,494	2.9%
営業利益	126	103	118	▲6.3%
経常利益	140	112	129	▲7.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	125	100	112	▲10.2%

### 【前期比】

一般管理費の増加等により減益

- 売上高：69億円(2.9%)増加
- 売上総利益：1億円(0.5%)増加
- 営業利益：7億円(6.3%)減少
- 経常利益：11億円(7.9%)減少
- 親会社株主に帰属する当期純利益：12億円(10.2%)減少

### 【予想比】

土木事業の売上総利益率の改善等により、各利益とも業績予想を上回る

- 売上高：4億円(0.2%)増加
- 売上総利益：13億円(4.2%)増加
- 営業利益：15億円(15.0%)増加
- 経常利益：17億円(15.3%)増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益：12億円(12.6%)増加

バイオマス発電事業を営む連結子会社

石狩バイオエナジー：2023年3月営業運転開始

平田バイオエナジー：1号機が2022年5月、2号機が2023年4月営業運転開始

# 連結B/S

(単位：億円)

	2022/3期末	2023/3期末	増 減		2022/3期末	2023/3期末	増 減
流動資産	1,920	1,988	68	流動負債	1,268	1,290	22
現金預金	331	402	70	支払手形・ 工事未払金等	513	502	▲10
受取手形・ 完成工事未収入金等	1,422	1,324	▲98	短期借入金	94	107	12
有価証券	—	100	100	固定負債	381	414	33
				ノンリコース 借入金	210	260	49
固定資産	1,403	1,448	45	負債合計	1,649	1,705	55
有形固定資産	733	771	37	株主資本	1,397	1,447	49
無形固定資産	11	16	5	利益剰余金	1,017	1,038	21
投資その他の資産	658	660	2	自己株式	▲80	▲51	28
投資有価証券	566	549	▲17	その他の 包括利益累計額	272	272	0
				非支配株主持分	4	12	7
				純資産合計	1,674	1,732	57
資産合計	3,323	3,437	113	負債純資産合計	3,323	3,437	113

## 【前期比】

### ・ 資産の部

- 「受取手形・完成工事未収入金等」の減少、「現金預金」「有価証券」の増加  
売上債権の回収や投資有価証券の売却等
- 「有形固定資産」の増加  
石狩バイオエナジー、平田バイオエナジーの発電施設の完成・引渡し等
- 「投資有価証券」の減少  
上場株式14銘柄の売却等

### ・ 負債の部

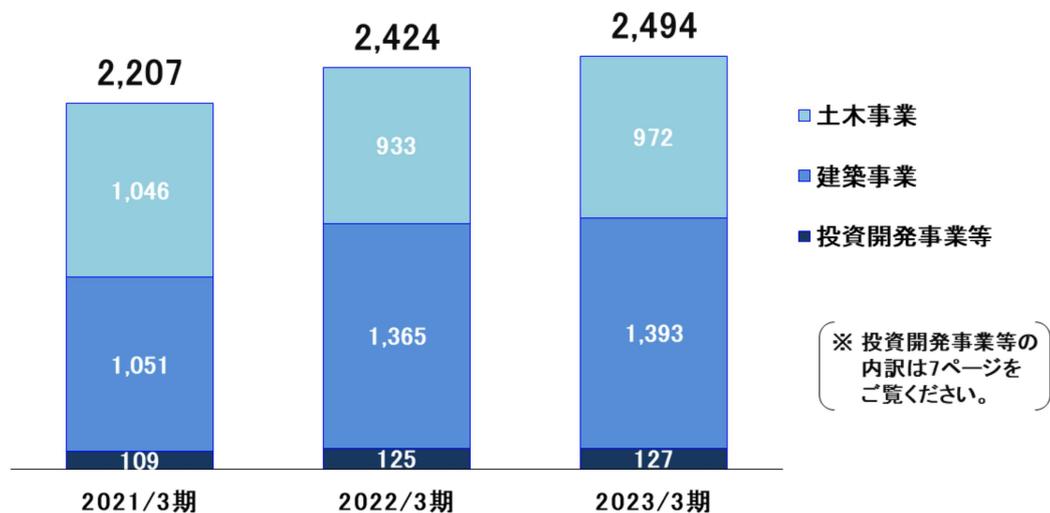
- 「短期借入金」の増加  
長期借入金からの振替え
- 「ノンリコース借入金」の増加  
石狩バイオエナジー、平田バイオエナジーの追加借入

### ・ 純資産の部

- 「利益剰余金」の増加  
当期純利益の計上
- 「自己株式」の減少  
自己株式の消却(100万株)
- 自己資本比率：50.0% (0.2ポイントダウン)

## 連結P/L(売上高)

(単位：億円)



※ 投資開発事業等の内訳は7ページをご覧ください。

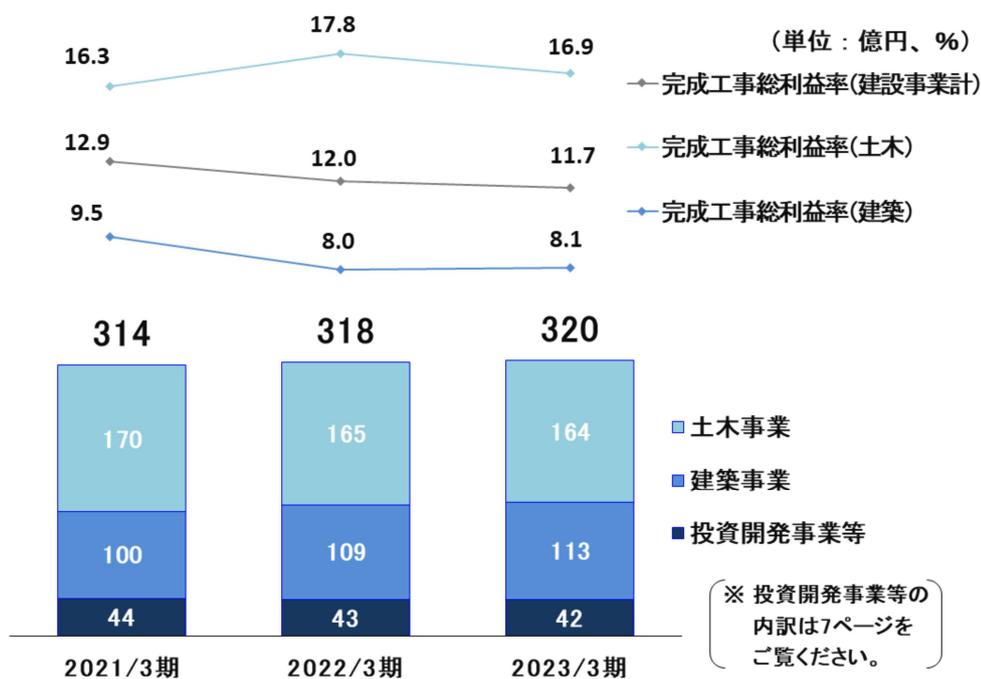
従来、「不動産事業等」としていた兼業事業の名称を当期より「投資開発事業等」に変更しています。

### 【前期比】

- 土木：39億円(4.3%)増加
- 建築：27億円(2.0%)増加
- 建設事業計：67億円(2.9%)増加
- 合計：69億円(2.9%)増加

近年は繰越工事残高が高水準で推移しており、売上高が増加傾向

## 連結P/L(売上総利益)



### 【前期比】

- **土木：1億円(0.9%)減少(0.9ポイントダウン)**  
完成工事高が増加したが、前期に大幅に損益が改善した工事が複数あった反動等により利益率が低下し減益
- **建築：3億円(3.4%)増加(0.1ポイントアップ)**  
資機材価格の高騰等により受注時採算が引き続き低いことや、赤字工事の発生があったものの、手持工事の損益が全般的に改善していること等により利益率は同水準となり、完成工事高の増加に伴い増益
- **建設事業計：2億円(0.8%)増加(0.3ポイントダウン)**
- **合計：1億円(0.5%)増加(13.1%→12.8%、0.3ポイントダウン)**
- **工事損失引当金**
  - 土木 ⇒ 0.2億円減少(6.3億円 ⇒ 6.1億円)  
    - 工事完成によるもの ▲2.9億円
    - 引当不足によるもの +2.7億円
  - 建築 ⇒ 6.1億円増加(3.3億円 ⇒ 9.5億円)  
    - 工事完成によるもの ▲2.3億円
    - 引当不足によるもの +8.4億円

## 投資開発事業等の内訳

(単位：億円)

	2021/3期		2022/3期		2023/3期	
〈売上高〉						
不動産事業	50		48		48	
┌ 販売	8		5		6	
└ 賃貸他	42		42		42	
新事業	0		0		32	
その他	58		77		46	
合計	109	100%	125	100%	127	100%
〈売上総利益〉						
不動産事業	36	71.2%	33	70.1%	34	70.6%
┌ 販売	4	50.0%	1	28.4%	1	28.7%
└ 賃貸他	31	75.5%	32	75.9%	32	76.7%
新事業	▲0	▲44.3%	▲0	▲16.7%	0	1.4%
その他	8	13.8%	9	12.3%	7	17.0%
合計	44	40.4%	43	34.3%	42	33.2%

※兼業事業の名称変更に伴い、従来「その他」としていた事業区分を「新事業」及び「その他」に区分しています。

- 「新事業」：奥村組のPFI事業マネジメント業務等  
石狩バイオエナジー（連結子会社）のバイオマス発電事業  
平田バイオエナジー（連結子会社）のバイオマス発電事業
- 「その他」：奥村組のコンサル事業等  
奥村機械製作（連結子会社）の建設資機材等の製造及び販売事業

### 【前期比】

#### <売上高>

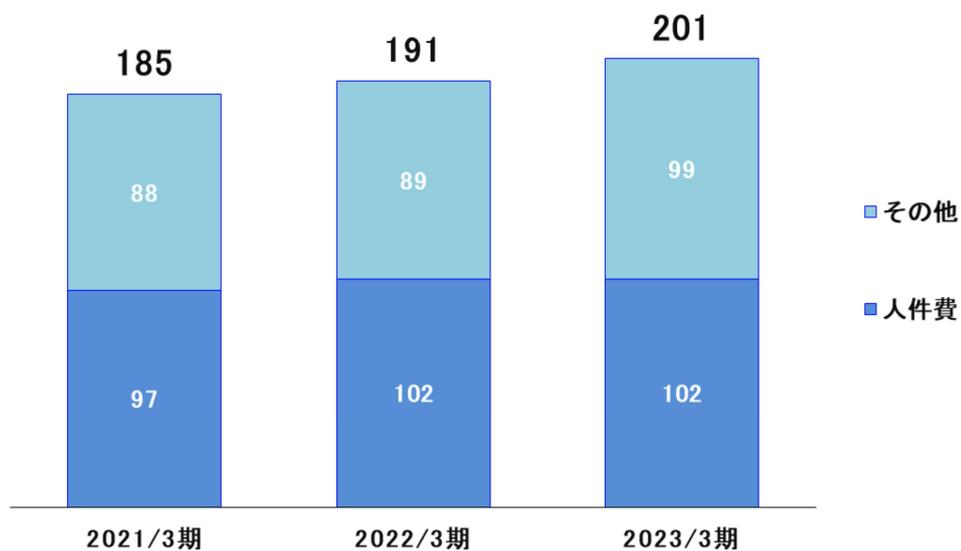
- 不動産事業計：0.3億円(0.7%)増加
- 新事業：32億円(－%)増加  
石狩バイオエナジー、平田バイオエナジーの営業運転開始
- その他：30億円(39.4%)減少  
前期に大型案件の売上計上があった反動等
- 投資開発事業等合計：2億円(1.9%)増加

#### <売上総利益>

- 不動産事業計：0.4億円(1.4%)増加
- 新事業：0.5億円(－%)増加(売上総利益0.4億円)
- その他：1億円(16.2%)減少
- 投資開発事業等合計：0.5億円(1.3%)減少

## 連結P/L(一般管理費)

(単位：億円)



### 【前期比】

- 一般管理費総額：9億円増加
- 人件費：前期並みの102億円
- その他：9億円増加  
調査研究費、ICT関連費用及びコロナ禍の反動による出張旅費の増加等

## 連結P/L(営業外収支・特別損益)

(単位：億円)

	2022/3期	2023/3期	
	実績	実績	増減
<b>営業外収益</b>	18	16	▲1
受取利息配当金	12	11	▲0
為替差益	3	1	▲1
<b>営業外費用</b>	4	6	1
支払利息	3	5	1
<b>営業外収支</b>	13	10	▲3
<b>特別利益</b>	32	30	▲1
投資有価証券売却益	32	30	▲1
<b>特別損失</b>	0	6	6
固定資産除却損	0	5	5
<b>特別損益</b>	31	24	▲7

### 【前期比】

#### ➤ 営業外収益

為替差益の減少等により減少

#### ➤ 営業外費用

連結子会社である石狩バイオエナジーのプロジェクトファイナンスに伴う支払利息の増加等により増加

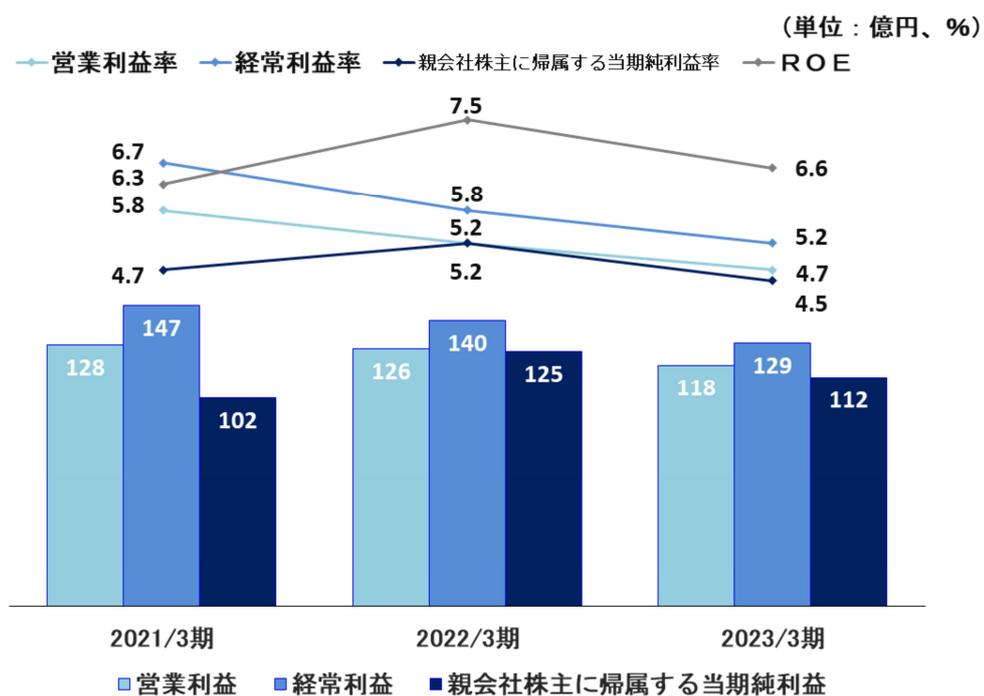
#### ➤ 特別利益

上場株式13銘柄の売却により、投資有価証券売却益30億円を計上したものの、前期から減少

#### ➤ 特別損失

固定資産除却損の増加等により増加

## 利益・ROEの推移(連結)



### 【前期比】

- 営業利益：7億円(6.3%)減少
- 経常利益：11億円(7.9%)減少
- 親会社株主に帰属する当期純利益：12億円(10.2%)減少
- ROE：6.6% (0.9ポイントダウン)

## 1株当たり配当額

	2021/3期	2022/3期	2023/3期
中間配当	37円	65円	66円
期末配当	103円	107円	(※1) 157円
年間合計	140円	172円	223円

(※1) 2023/3期の期末配当額については、2023年6月開催予定の定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

### ◇当社の株主還元政策（2023/3期～2025/3期）

連結配当性向70%以上

業績にかかわらず自己資本配当率（DOE）<sup>(※2)</sup> 2.0%を下限とする。

(※2) 自己資本配当率（DOE）＝ 配当総額÷自己資本

➤ **年間配当額：223円を予定**

※2023年2月に公表した年間配当予想200円から23円増配

➤ **連結配当性向：72.9%**

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	
	実績	実績	実績	増減
営業キャッシュ・フロー	0	182	179	▲3
投資キャッシュ・フロー	▲89	▲27	7	35
財務キャッシュ・フロー	17	▲42	▲15	26
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1	0	▲0
<b>増減額</b>	<b>▲71</b>	<b>114</b>	<b>171</b>	<b>56</b>
現金及び現金同等物の期首残高	272	201	316	114
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>201</b>	<b>316</b>	<b>487</b>	<b>171</b>

➤ **営業活動によるキャッシュ・フロー**

税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少等により179億円の増加

➤ **投資活動によるキャッシュ・フロー**

有形固定資産の取得による支出により減少したものの、投資有価証券の売却による収入等により7億円の増加

➤ **財務活動によるキャッシュ・フロー**

ノンリコース借入により増加したものの、配当金の支払い等により15億円の減少

## 連結業績予想

(単位：億円)

	2023/3期		2024/3期		
	実績		予想		増減
〈売上高〉					
建設事業	2,366		2,650		283
〔土木〕	972		1,030		57
〔建築〕	1,393		1,620		226
投資開発事業等	127		201		73
<b>合計</b>	<b>2,494</b>	<b>100%</b>	<b>2,851</b>	<b>100%</b>	<b>356</b>
〈売上総利益〉					
建設事業	277	11.7%	293	11.1%	15
〔土木〕	164	16.9%	173	16.8%	8
〔建築〕	113	8.1%	120	7.4%	6
投資開発事業等	42	33.2%	52	25.9%	9
<b>合計</b>	<b>320</b>	<b>12.8%</b>	<b>345</b>	<b>12.1%</b>	<b>24</b>
一般管理費	201	8.1%	208	7.3%	6
<b>営業利益</b>	<b>118</b>	<b>4.7%</b>	<b>137</b>	<b>4.8%</b>	<b>18</b>

### 【2023/3期比】

#### <売上高>

- 土木：57億円(5.9%)増加
- 建築：226億円(16.2%)増加
- 建設事業計：283億円(12.0%)増加
- 投資開発事業等：73億円(57.1%)増加
- 合計：356億円(14.3%)増加

#### <売上総利益>

- 土木：8億円(5.2%)増加(0.1ポイントダウン)  
高水準の繰越工事により増収増益となる見込み
- 建築：6億円(6.1%)増加(0.7ポイントダウン)  
高水準(※)の繰越工事により増収増益となる見込み  
※2010年3月期に工事進行基準を適用して以来最大
- 建設事業計：15億円(5.6%)増加(0.6ポイントダウン)
- 投資開発事業等：9億円(22.3%)増加(7.3ポイントダウン)  
石狩バイオエナジー、平田バイオエナジーの営業運転により増収増益となる見込み
- 合計：24億円(7.8%)増加(0.7ポイントダウン)

#### <一般管理費>

- 6億円(3.2%)増加  
研究開発費及びICT関連費用の増加等

## 連結業績予想

(単位：億円)

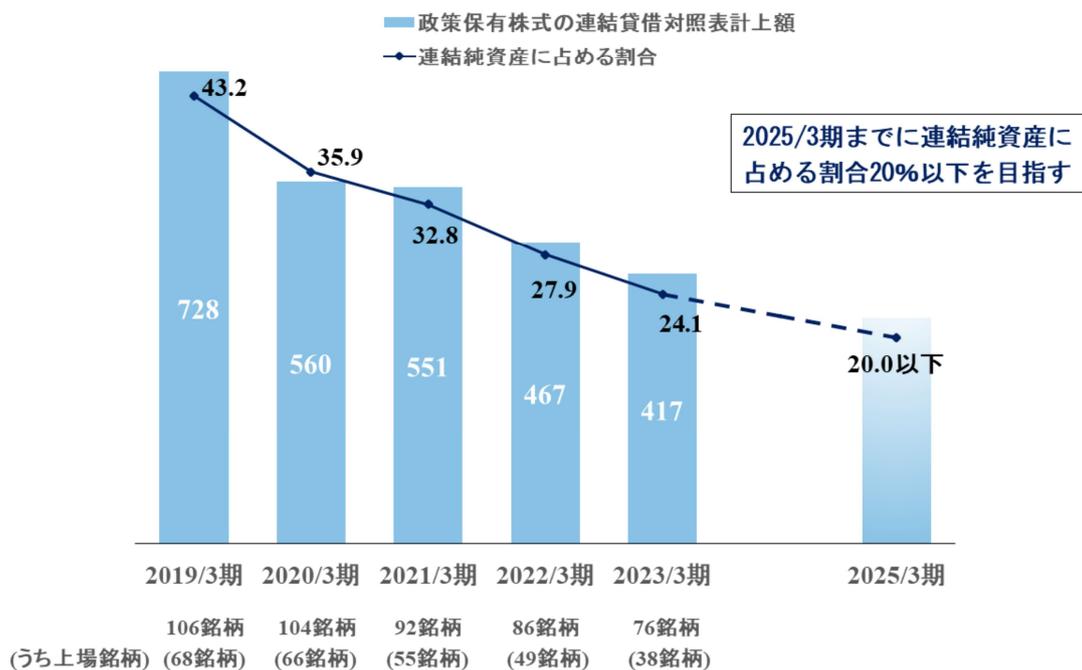
	2023/3期		2024/3期		
	実績		予想		増減
営業外収益	16	0.7%	14	0.5%	▲2
営業外費用	6	0.2%	7	0.2%	0
<b>経常利益</b>	<b>129</b>	<b>5.2%</b>	<b>144</b>	<b>5.1%</b>	<b>14</b>
特別損益	24	0.9%	30	1.0%	5
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	<b>153</b>	<b>6.1%</b>	<b>174</b>	<b>6.1%</b>	<b>20</b>
法人税等	47	1.9%	56	2.0%	8
<b>当期純利益</b>	<b>105</b>	<b>4.2%</b>	<b>118</b>	<b>4.1%</b>	<b>12</b>
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲7	▲0.3%	▲1	▲0.1%	6
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	4.5%	119	4.2%	6
<b>R O E</b>	<b>6.6%</b>		<b>7.0%程度</b>		

### 【2023/3期比】

- 経常利益：14億円(11.6%)増加
- 特別損益に投資有価証券の売却益30億円を計上する見込み
- 親会社株主に帰属する当期純利益：6億円(5.7%)増加

## 政策保有株式の縮減状況

(単位：億円、%)



- 上場株式の銘柄数：2022/3期から11銘柄減少した38銘柄
- 連結純資産に占める割合：2022/3期から3.8ポイントダウンの24.1%

## 1株当たり配当額予定

	2022/3期	2023/3期	2024/3期予定
中間配当	65円	66円	77円
期末配当	107円	157円	148円
年間合計	172円	223円	225円

◇当社の株主還元政策（2023/3期～2025/3期）

連結配当性向70%以上

業績にかかわらず自己資本配当率（DOE）<sup>(※)</sup> 2.0%を下限とする。

(※) 自己資本配当率（DOE）= 配当総額÷自己資本

➤ 年間配当額予定：225円 ※2023/3期から2円増配

➤ 連結配当性向：70.1%



非財務情報

奥村組グループのサステナビリティ  
～脱炭素社会の実現に向けた取り組み～

 **OKUMURA CORPORATION**

## 奥村組グループのサステナビリティ

～脱炭素社会の実現に向けた取り組み～

1. 中期経営計画（2022～2024年度）における主要数値目標（非財務）
2. 再エネ由来電力の安定供給：バイオマス発電所の営業運転開始
3. CO2排出量削減施策の推進：SBT認定の取得
4. 令和4年度エネルギー管理優良事業者等表彰を受賞
5. 令和4年度木材利用優良施設等コンクールで内閣総理大臣賞を受賞



## 1. 中期経営計画（2022～2024年度）における主要数値目標（非財務）

### 再生可能エネルギー（再エネ）由来電力の安定供給

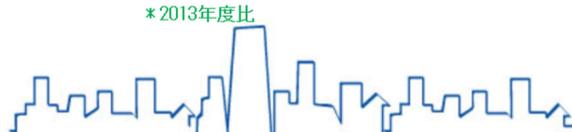
2024年度目標：再エネ事業による発電量 18万MWh/年以上  
8万t-CO<sub>2</sub>/年以上のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献することを目指す

### 施工段階におけるCO<sub>2</sub>排出量削減施策の推進

2024年度目標：建設事業によるCO<sub>2</sub>排出量 21.21t-CO<sub>2</sub>/億円未満  
6万t-CO<sub>2</sub>/年未満にCO<sub>2</sub>排出量を抑制することを目指す

### 設計段階におけるCO<sub>2</sub>排出量削減施策の推進

2024年度目標：設計施工建物の運用エネルギー 30%\*以上削減  
ZEB推進等により建物運用時のCO<sub>2</sub>排出量を30%\*以上削減することを目指す  
\*2013年度比



## 2. 再エネ由来電力の安定供給：バイオマス発電所の営業運転開始

■ 下記のとおり営業運転を開始

- ・ 2022年5月29日  
福島平田村バイオマスパワー 1号
- ・ 2023年3月2日  
北海道石狩新港バイオマス発電所
- ・ 2023年4月2日  
福島平田村バイオマスパワー 2号

■ これらにより年間18万MWh以上の電力を安定供給し、年間8万t以上のCO2排出量削減に貢献することを目指します



北海道石狩新港バイオマス発電所（北海道石狩市）



1号



2号

福島平田村バイオマスパワー（福島県石川郡平田村）

 **OKUMURA CORPORATION**



### 3. CO2排出量削減施策の推進：SBT認定の取得

■ 当社グループは右表のとおりCO2排出量削減目標を設定し、2023年1月にSBTi (Science Based Targets initiative) より SBT認定を取得しました

SBT認定 当社グループ目標 (CO2排出総量)

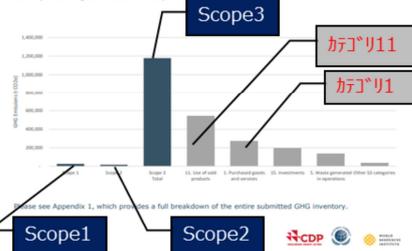
	2030年度目標削減率
Scope 1+2	25%(2020年度比)
Scope 3	13%(2020年度比)

■ グラフは当社グループの2020年度におけるCO2排出量を示しており、ライトグレ一部分はScope3の内訳です

SBT認定 当社グループ2020年度CO2排出量

**GHG Inventory overview**

Okumura Corporation submitted one annual GHG inventory for review by the SBTi. For the base year of FY2020 total emissions are 1,215,455 t CO<sub>2</sub>e, with scope 1+2 representing 3.4% and scope 3 representing 96.6% of total emissions. The GHG emissions inventory covers all relevant GHG emissions, from all relevant sources and subsidiaries. The GHG inventory is composed exclusively of fossil based emissions, and no biogenic emissions have been reported alongside the GHG inventory.



■ Scope1およびScope2と比べてScope3が圧倒的に多く、中でも**カテゴリ11**、**カテゴリ1**が大きなウェイトを占めているため、当社グループはまずはこれら2つのカテゴリのCO2排出量削減に重点を置く必要があると考えています

- Scope1：自社による燃料の燃焼に伴う排出
- Scope2：自社による電気の使用に伴う排出
- Scope3：事業者の活動に関連する他社の排出 (1～15のカテゴリに分類)



#### 4. 令和4年度エネルギー管理優良事業者等表彰を受賞

- カテゴリ11は販売した製品の使用によるCO2排出であり、建設業の場合、削減にはZEB※等による建物の省エネが重要です
- 当社は技術研究所 管理棟を2020年にZEB化改修（右図参照）しており、同じく2020年に新設した室内環境実験棟（写真）で省エネに関する研究を重ね、新たに開発した技術を随時管理棟に適用して効果を検証するサイクルを回しています
- このような取り組みが評価され、当社技術研究所は経済産業省関東経済産業局の「令和4年度エネルギー管理優良事業者等表彰」を受賞しました

※ZEB (net Zero Energy Building)  
創エネと省エネによる実質的なエネルギー消費量ゼロと快適な居住空間の両立を目指した建物



技術研究所 管理棟 ZEB化改修概要



技術研究所 室内環境実験棟

 **OKUMURA CORPORATION**



## 5. 令和4年度木材利用優良施設等コンクールで内閣総理大臣賞を受賞

- カテゴリ1は購入した製品・サービスの原材料や部品の製造過程等におけるCO2排出であり、建設業の場合、建材の選定などが重要です
- 建物の構造体で大量に使用される鋼材やコンクリートの製造過程では大量のCO2が発生するため、これらの建材を木材へ代替することにより、カテゴリ1のCO2排出量を削減することができます
- 木材利用への積極的な取り組みをすすめている中、当社が施工した流山市立おおぐろの森中学校（写真）は令和4年度木材利用優良施設等コンクールで、内閣総理大臣賞を受賞しました



流山市立おおぐろの森中学校



賞状（木製）





本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

